

# 1. 評価結果概要表

**【評価実施概要】**

事業所番号	272501529		
法人名	社会福祉法人美土里会		
事業所名	美土里荘グループホーム櫛		
所在地 (電話番号)	〒039-2504 青森県上北郡七戸町寒水70-1 (電話) 0176-62-5221		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 19年 10月 17日	評価確定日	平成 20年 1月 7日

【情報提供票より】(平成 19年 9月 25日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 18年 1月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	15 人	常勤 13人, 非常勤 2人, 常勤換算	14.5 人

(2) 建物概要

建物構造	木造造り		
	平屋 建ての	階 ~	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	21,000 円	その他の経費(月額)	9,600 ~ 冬季14,400 円
敷金	有( 円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 950 円		

(4) 利用者の概要( 9月 25日現在)

利用者人数	18 名	男性 1 名	女性 17 名
要介護1	2 名	要介護2	9 名
要介護3	6 名	要介護4	1 名
要介護5	名	要支援2	名
年齢 平均	84 歳	最低	65 歳
		最高	96 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人柏葉医院、公立七戸病院
---------	-----------------

**【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】**

<p>自然豊かな山々に囲まれた環境の中で、同一敷地内の特別養護老人ホームが母体の事業所には、様々な場面で協力体制が確保されている。入居者と家族も参加しての敬老会や忘年会など、家族との交流会も盛んである。職員は入居者それぞれの役割を意識したケアを提供しており、入居者も、いつも笑顔で落ち着いた生活を送っている。</p>
--

**【重点項目への取り組み状況】**

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の課題に関しては、改善に向けた取り組みをしながら、日々の生活を援助している。開設2年目であるが、入居者・職員は落ち着いており、今後は、職員のスキルアップの為に研修等の充実に期待したい。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価の結果を見直している状況。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>役場職員や町内会の方々に参加してもらい情報交換の場になっている。しかし、その場で要望等での発言が少ない状況である。今後は、周囲の意見も広く集めて取り組んでいく事を期待したい。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)</p> <p>家族へは、面会時などに声をかけ、意見や苦情を話してもらうように働きかけている。直接の苦情が少ない為、今後は間接的にも声を集められるようにし、ケアの見直しに役立てはどうか。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>町内会には加入していないが、地域住民と防災訓練を行ったりする事で協力体制を確保している。また、町内の親睦会に参加する事で住民ともコミュニケーションが図れている。今後も、地域との連携体制を継続して行くことを期待したい。</p>

## 2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人理念を基本とし、グループホーム理念も全職員で話し合い作り上げている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	法人理念は採用時に理事長から説明されており、グループホーム理念は会議などで常に確認しあい利用者に接している。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	山々に囲まれている立地上、近隣というのは難しい。しかし、職員と利用者が一緒に地域に買い物などで出向いたり、地域住人には施設行事に参加していただいたり、併設事業所では介護教室の中で認知症の理解をしていただくよう働きかけをしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>自己評価の結果を踏まえて全職員で話し合い、改善に向けた見直しをしている。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>情報収集の場になっている。意見が出にくい面もあるが、今後に活かされている。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議以外にも、役場とは、必要時に連絡を取りながら連携できている。今は、解決できない困難事項がないため、積極的な関わりが少ないが、協議すべき事項が発生したときは更に連携を強化し解決に向けている。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>管理者のみ理解している状況である。職員の理解不足が見受けられた。</p>		<p>外部・内部研修を通じて理解を深め、マニュアル作成などされることを提案します。</p>
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>職員同士、声をかけ合い対応しているが、何が虐待なのか深い部分の理解不足が見受けられた。</p>		<p>外部・内部研修を通じて理解を深め、マニュアル作成などされることを提案します。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約の際は、きちんと家族に説明をし理解してもらっている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>家族へは、毎月便りを出しており、その中には金銭管理簿や行事予定なども同封している。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>面会時に家族と話し、家族からの情報収集には努力している。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>毎年春に、母体施設との異動がある。利用者には影響がないように、管理者を中心としてサポートしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
13	17	職員を育てる取り組み  運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修には多く参加しており、その報告会を月に1度内部研修として行なっている。		
14	18	同業者との交流を通じた向上  運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	なかなか困難ではあるが、研修を通じて他施設職員と交流を持ち、情報交換することでサービスの質に反映させている。		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
15	23	馴染みながらのサービス利用  本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	馴染みの私物を持参して頂くように、家族へは入居時から働きかけをしている。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者と共に時間を過ごす努力をしている。利用者が精神的に不安定になりそうな時は、回避するために一緒に散歩に行ったり、いつも以上に利用者との関わりを密にしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
17	30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日々、利用者とのコミュニケーションの中から思いを推察し、家族からも十分に聞き取り等をし、意向に沿うように支援をしている。</p>		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>利用者・家族をも含め話し合いをし、介護計画の作成をしている。</p>		
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>事業所では、定期的にケース会議を開催し、必要に応じて介護計画の見直しをしている。</p>		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>グループホーム内だけでなく、母体施設との協力体制があり、予定事項以外も必要に応じて対応ができています。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
21	40	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	定期的な受診支援はもちろんの事、家族の協力も得ながら対応している。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	まだ事例がなく取り組んでいない。		どんな状況になっても対応できる様、早期にマニュアル作成するなど、重度化に向けた方針を定められることを期待します。
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
23	47	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報の保護には十分注意し、対応している。		
24	49	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日課はあるが、日課にとらわれる事なく利用者に合わせて日々の生活を支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>個々の嗜好は確認しており、可能な限り対応している。食材購入も、1日おきに利用者と一緒に出かけていて利用者も楽しみにしている。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>利用者の意向を尊重して対応している。個浴なので、個々に合わせた支援ができています。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>作業なども、利用者に合わせて役割を持っていただいている。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>日課にとらわれず、希望に沿って個別対応ができています。</p>		



外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束はしていない。しかし、勉強会等もなく具体的な行為の理解に欠けている。</p>		<p>拘束していないからそれで良いという事ではない。職員全員が、正しい知識を理解して対応する事が大切でしょう。</p>
30	63	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>基本的に鍵はかけていない。外にも自由に出られる状況である。</p>		
31	68	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>2ヶ月に1回、地域住民にも参加してもらい防災訓練を行っている。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事や水分摂取状況は毎日観察しており、必要に応じて母体施設の栄養士にアドバイスしてもらっている。</p>		
33	75	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>内外研修に参加し知識を深めている。また、日々の生活の中においてもうがい、手洗いの励行やペーパータオルの使用、インフルエンザの予防接種をし、感染防止に努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p><b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b></p>					
<p><b>(1) 居心地のよい環境づくり</b></p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節の花を飾ったり、共用空間もきれいに工夫されている。くつろぎスペースは、食堂テーブルだけでなく畳とコタツもある。好きな場所で自由に過ごす事ができる。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者に馴染みのものを持ち込んでもらい、個々の嗜好に合わせている。また、家族も宿泊できるように家族室もある。</p>		

 は、重点項目。